

IVR 日本支部運営委員会議事録

日時：2017年7月30日（日）10時～12時半

場所：明治学院大学（白金キャンパス）本館8階 法律科学研究所会議室

出席：瀧川裕英（支部長）、宇佐美誠、戒能通弘、川瀬貴之、高橋洋城、土井崇弘、野崎亜紀子、横濱竜也、足立英彦（事務局長）、（オブザーバー櫻井徹（IVR 理事））

報告・審議事項

(1) 前回の議事録承認

前回（2017年1月7日）の議事録案及び議事メモ案を、運営委員の名前の誤字修正のうえ承認した。

(2) IVR 世界大会および IVR 理事会について

櫻井 IVR 理事及び瀧川支部長より、7/17-22 のリスボン大会が無事終了したこと、次回はスイスの Lucerne で 2019 年 7/7-13 に開催されること、ARSP の日本からの投稿がこの2年間ないので、積極的に投稿すべきこと等の発言があった。

(3) 第1回 IVR-J 国際会議について

瀧川支部長より、二十一世紀文化学術財団から300万円の助成を受け、神戸基金に入金済みであるとの報告があり、これをふまえて、Rundle 氏の航空券はビジネスにしたいという発言があり承認した。

足立事務局長より、ivrj.org のドメインを取得し、Web サイト (<http://2018kyoto.ivrj.org/>) を公開したこと、チラシを1500枚作成し、デザイン料32,400円、印刷代3,240円（ともに税込み）を支払ったこと、チラシの一部をリスボン大会で配布したこと等の報告があった。

宇佐美委員より Call for Paper の方式について提案があり、主に以下の内容で進めることを承認した。

個別報告について：会議前に Abstract のみ提出してもらい審査する、Abstract の語数は300-500単語程度とし、複数投稿（Panel 報告含む）も可とする、Abstract 受理後に参加費を支払ってもらい、Abstract の提出期限は2月末まで、査読結果は3月末までに通知する。

Panel について：Panel の提案は、2000語程度で、報告者名とそれぞれの報告の Abstract を Panel の主催者に提出してもらい、締め切りは2月末、結果通知は3月末とする。

論文の出版について：会議終了後、論文公表希望者には10月末までに Full Paper を提出してもらい査読する。Rule of Law and Democracy に関係する論文に限定する。Full Paper の提出期限は10月末とする。

戒能委員より、席上配布資料に基づき、会場の準備状況について説明があった。

(4) 2016 年度会計報告案について

原案の通り承認した。

(5) 新入会員／退会者の承認
なし

(6) その他
とくになし

次回運営委員会：11月17日（金）10時より大阪大学にて。

以上